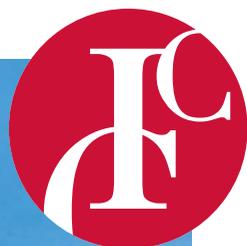


70 10  
ANNIVERSARY ANNIVERSARY

石橋文化センター・久留米市美術館  
イベント・展覧会スケジュール

KURUME  
CITY ART  
MUSEUM



# EVENT & EXHIBITION SCHEDULE

石橋文化ホール  
久留米市美術館  
石橋正二郎記念館  
久留米市立中央図書館



# 2026



## 久留米市美術館

久留米市美術館は、石橋美術館の建物と活動を引き継ぎ、2016年11月19日に開館しました。そして2026年、開館10周年を迎えます。その間、トラックヤードの新設など施設の充実を図りながら、多岐にわたる展覧会を開催するとともに関連イベントなども活発に行ってまいりました。2026年度もまた、前年度から開催中のアーティゾン美術館の名品紹介に加え、久留米市美術館のコレクション、フランス近代絵画、デザイン、版画など、幅広いラインナップでお楽しみいただけます。

## 石橋正二郎記念館

ISHIBASHI SHOJIRO MEMORIAL MUSEUM

2016年に久留米市美術館とともに開館した石橋正二郎記念館は、ブリヂストンの創業者である石橋正二郎を顕彰する全国唯一の公開施設です。展示室では石橋文化センターの変遷や、石橋正二郎の歩みやひととなりを伝える様々な資料を紹介しています。

※2026年2月14日リニューアルオープン



## FLOWER EVENT & MAP

# ななつの花めぐり イベント情報 & マップ



### 3/下旬-4/月上旬 チューリップまつり

13,000本のチューリップや春の花々が園内の各花壇で彩ります。



春 4/下旬-5/下旬

### 秋 10/下旬-11/下旬 バラフェア

500品種・2,300株のバラが華やかに咲き誇り、芳しい香りに包まれます。



### 5/中旬-6/中旬 初夏の花まつり

ハナショウブ、スイレンほか初夏を彩る花々を楽しめるイベントです。



### 11/下旬-12/月上旬 もみじまつり

「日本庭園」の紅葉やイチョウ並木などが色づきます。



### 2/下旬-3/月上旬 梅まつり

春の訪れを告げる梅の花。140本の梅が見頃を迎えます。



### 3/中旬-3/下旬 つばきまつり

「国際優秀つばき園」に認定された、260品種・1,500本のツバキをお楽しみください。



### 3/下旬 さくらまつり

お花見は石橋文化センターへ。150本の桜がお迎えます。



石橋文化センターは、1956(昭和31)年に株式会社ブリヂストンの創業者である石橋正二郎名誉市民が建設し久留米市に寄贈した複合文化施設で、2026年4月に開園70周年を迎えます。バラやツバキなど四季折々の花々が彩る広大な庭園を有し、美術館をはじめ、音楽ホールや図書館などを備えています。花と緑にあふれた園内は、市民の憩いの場として、文化芸術活動の拠点として、多くの人々に親しまれています。

## カフェ&ギャラリーショップ 楽水亭

営業時間 10:00 - 17:00  
カフェランチタイム 11:00 - 14:30  
オーダーストップ 16:30



日本庭園を望むカフェでは、季節の御膳や、オリジナルスイーツをお楽しみいただけます。隣のギャラリーショップでは久留米の地場産品やこだわりのセレクト商品を販売。美術鑑賞や園内散策の後に、ぜひお立ち寄りください。

園内では、「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」として、様々なイベントを開催しています。

4/25<sub>[土]</sub>  
・26<sub>[日]</sub>

## 開園70周年記念フェスティバル

春の花咲く庭園で、Ecoフラワーアート、ファミリーディスコ、リアル謎解きゲーム、こどもスケッチ大会などを開催します。



## メモリアル展

8/下旬

## 夏祭り

納涼スポットや夜市などをお楽しみください。

10/中旬

## ミュージアムハロウィン

自然豊かな園内でハロウィンをお楽しみください。

11/中旬

## アートフェスティバル

期間中、様々なアート作品を屋外に展示。普段とは一味違った園内をお楽しみください。



11/下旬

ウィンターイルミネーション  
「光のミュージアム」

~1/中旬

園内をイルミネーションとライトアップで彩り、光と音で演出します。(有料イベント)



12月

## 石橋文化センターのクリスマス

## 久留米市美術館 1階ギャラリー

2027

## 青木繁記念九州高校生美術公募展

1月下旬

九州の高校生を対象とした、絵画、デザイン、立体作品などの公募展を開催します。

## 石橋文化ホール 共催事業

5月・久留米児童合唱団定期演奏会

6月・City Winds 久留米市民吹奏楽団(NPO) 音楽会  
プラスメッセージ 2026

8月・くるめ Jr. プラスバンド コンサート

11月・プリチストン吹奏楽団久留米定期演奏会

## 石橋文化センター SNS

最新情報や四季折々の様子を紹介しています。  
いいね!・フォローをお願いします。



Facebook



Instagram



LINE



Youtube

※催事は内容変更・中止・延期となる場合があります。

プロの演奏家から市民まで、音響の良いホールで様々な公演が行われています。

4/5<sub>[日]</sub>

## 音楽劇「悲劇の天才画家 青木繁」DVD上映会

5/17<sub>[日]</sub>

## くるめ新人演奏会

6/10<sub>[水]</sub>柳家喬太郎、柳家三三、  
蝶花楼桃花  
久留米特選  
落語三人会6/14<sub>[日]</sub>

## 辻彩奈 ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ：五十嵐薫子



©Makoto Kamiya

7/4<sub>[土]</sub>

## 鈴木亜美 &amp; 後藤真希 TALK SHOW

～鈴木と後藤のふたり旅 2026～

(仮タイトル)

8/8<sub>[土]</sub>つくって♪ならそう♪  
こども音楽会8/16<sub>[日]</sub>

## ドラゴンクエストコンサート



9月

## くるめ音楽祭

9/6 [日] アンサンブルフェスティバル

9/13 [日] 吹奏楽祭

9/27 [日] 合唱祭

10/12<sub>[月・祝]</sub>

## ケロポンズファミリーコンサート

12/5<sub>[土]</sub>梶裕貴、浦和希、室井海人  
戯曲音楽劇  
「銀河鉄道の夜」

2027

1/10<sub>[日]</sub>ニューイヤーバンド  
フェスティバル1/11<sub>[月・祝]</sub>宮田大 & 福間洸太郎  
チェロ・ピアノコンサート

年4回程度

## ミュージアムコンサート

年2回程度

## 0歳からのキッズコンサート

## 久留米市美術館開館10周年記念展

### 美の新地平

石橋財団アーティゾン美術館のいま

2026.2/14<sub>[土]</sub> - 5/24<sub>[日]</sub>

かつてのプリチストン美術館から新たにアーティゾン美術館として活動する石橋財団コレクションの「いま」を伝える名品を紹介します。出品予定の80点の中の66点が新たに収蔵された作品です。



藤島武二《東洋振り》1924年  
石橋財団アーティゾン美術館

■公益財団法人石橋財団特別助成

久留米市美術館  
開館10周年記念展特設サイト

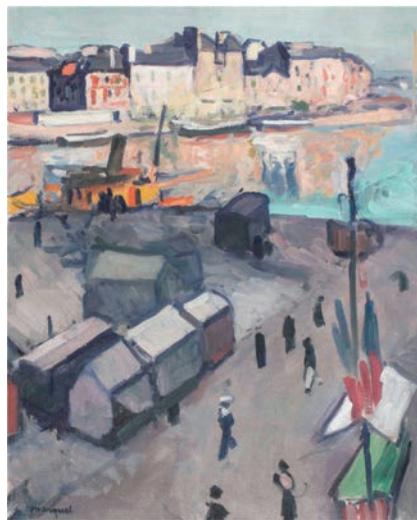


開館10周年・特別展

### アルベール・マルケ展

6/9<sub>[火]</sub> - 7/29<sub>[水]</sub>

20世紀初頭のフランスでマティスとともに「フォーヴ」運動を展開した画家アルベール・マルケ(1875-1947)。「われらが北斎」と呼ばれた大胆な構図と、灰色を基調とした穏やかな色彩は、石井柏亭や高田力蔵ら多くの日本の画家を魅了しました。本展はフランス及び国内の美術館やギャラリー、個人コレクターが所蔵する作品により、旅に生き水辺の風景を愛したマルケの魅力を紹介する、国内では35年ぶりとなる個展です。



アルベール・マルケ  
《ル・アーヴル、船渠》1906年  
ル・アーヴル、  
アンドレ・マルロー近代美術館  
Le Havre, musée d'art  
moderne André Malraux  
© MuMa Le Havre /  
Charles Maslard

### 坂本繁二郎旧アトリエ

久留米市出身の画家・坂本繁二郎のアトリエを、1980年に八女市から石橋文化センター園内に移築・復元したものです。馬や静物シリーズなどは、このアトリエで生まれました。

季節ごとに期間限定で公開します。



開館 10 周年・ちくご ist

## 河北秀也 デザインの旅

8/8<sub>[土]</sub> - 10/12<sub>[月・祝]</sub>

「ちくご ist」の第3回として、久留米出身のアートディレクター・河北秀也 (1947-) のデザインワークを紹介する展覧会を開催します。本展では初期の代表作である地下鉄路線図や地下鉄マナーポスターをはじめ、ライフワークといえる iichiko design の魅力を多角的に掘り下げることから、河北秀也が歩み続けてきた「デザインの旅」を巡る機会とします。



B倍ポスター  
No. : A-1  
掲出月：1984年4月

町田市立国際版画美術館所蔵

## 長谷川潔展

ーパリに生きた銅版画家の軌跡

2027.1/23<sub>[土]</sub> - 3/28<sub>[日]</sub>

日本を代表する銅版画家、長谷川潔 (1891-1980) は、第一次大戦後に単身渡仏し、失われつつあった技法マニエール・ノワール (メゾチント) を復興させ、近代版画史に大きな足跡を残しました。初期から晩年に至る代表作を網羅的に紹介するとともに、生涯をパリで終えた長谷川が同地で出会った版画の先達の名品の数々も展示します。



長谷川潔  
《時 静物画》1969年  
町田市立国際版画美術館

開館 10 周年・コレクション ing

## コレクションをとともに見る・語る

10/24<sub>[土]</sub> - 2027.1/11<sub>[月・祝]</sub>

2016年の開館以来、久留米市美術館は約320点の作品を収集してきました。ほとんどが九州の洋画家たちによるもので、現状、それが当館コレクションの特徴となっています。「コレクション ing」は進行形の収集作品を紹介するという意味で名づけた展覧会でこれまでに4回行いました。10年目の今回は、学芸員の推し作品を展示し、来館された皆さんの作家・作品への思いを共有しながら、ともに作り上げていく参加型の展覧会に挑戦します。



坂本繁二郎《ヴァンヌ風景》1923年  
久留米市美術館



児島善三郎《ミモザその他》1957年  
久留米市美術館

## 久留米市美術館 SNS

最新情報や展覧会  
おすすめポイントなどを  
紹介しています。



Facebook



Instagram



Youtube



X



LINE



